



【学校教育目標】

人間性豊かでたくましく主体的に行動する児童の育成
～**す**んでやる子 **か**んばる子 思**お**もいやりのある子～

自分も人も大切に・・・“笑顔あふれる西浜小学校”をめざして



1年生を迎える会

5月14日(水)の3時間目に、2年生から6年生のお兄さん・お姉さんが「西浜小学校のみんなで、1年生を歓迎し、1年生がこれから楽しい学校生活を送ることができるように」という目的で、1年生を迎える会を開いてくれました。

1年生が6年生と手をつなぎ、みんなの手拍子に合わせて入場しました。2年生から6年生が学年ごとに独自のアイデアと個性を出しながら、歌や呼びかけで1年生を迎え入れました。どの学年も工夫されていて素晴らしいものでしたが、その後、全校で歌った「海はともだち」は、2年生から6年生までが大きな声で、新しい友だちとなった1年生に歌いかける姿や歌声にも、また、それにこたえてまだ入学してから1月しかたっていない1年生が口を大きく開けて歌う姿も、とても感動的で鳥肌がたつほどの、さらにすばらしい合唱でした。会の後の子どもたちの笑顔を見ていると、やり遂げた満足感があふれていて、みんなが笑顔の楽しい会になりました。

これからも学校全体で様々な行事が予定されていますが、充実した活動となることを期待しています。

心のコップ

5月19日～23日の週間に、学校では「心のコップ」について考えるという学習を行いました。すでに学習は終わっているので、お子様から話をお聞きになっている方が多いことと思いますが、ご紹介させていただきます。

人の心の中には「心のコップ」があると言われています。この「心のコップ」は、「嫌だな」「辛いな」「悲しいな」と感じたときに「心のコップ」に水が溜まっていきます。コップの大きさは自分が「我慢」できる大きさで、一人一人の大きさは違うようです。

子どもたちには、次のことを考え、話し合ってもらいました。

- ・自分のコップの大きさはどのくらいでしょうか？
- ・水が溢れてしまうとどうなるのでしょうか？
- ・コップに水が溜まってきたときに、水を減らすためにできることは何でしょうか？
- ・友だちの心のコップに、水を溜めないようにできることは何でしょうか？

これは、自分も人も大切にしてほしいこと（いじめは絶対にいけないこと）や自分は大丈夫かもしれないけれど、人によっては大丈夫ではないことがあること（人には違いがあること）、つらいこと（いじめなど）が起きたときに自分自身にできること（問題解決力）、友だちとの接し方（思いやりの心）などを考え、理解し、自分なりに行動できるようになるための学習です。

子どもたちは、皆真剣に考え、自分なりの意見を導き出していました。

「心のコップは、うれしいことがいっぱいあって、水が溜まっていくのがいいな」という意見もありました。まさしく、これが誰もが願うことであり西浜小学校の目標です。子どもたちが、うれしいことや楽しいこと、幸せなことで心のコップが溢れるような学校生活が送れるよう取り組んでまいりますので、さらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

